



伊地知文庫
文庫20
194
1



一山
二嶺
三高
四根
五尾
六巷
七坂
八濱
九杞
十窟

換

目錄

伊地知氏書冊

十一水
十二炭
十三隈
十四瀧
十五湯
十六河
十七河原
十八岸
十九渡
二十迫門

廿橋
廿一渡
廿二瀨
廿三洲
廿四池
廿五堤
廿六沼
廿七澤
廿八軒
廿九水

勅撰名所和歌抄巻上

伊地知氏書冊

一 山

石蔵山 山城 東石蔵 小石蔵 石蔵郡 已上三ヶ所

拾遺十

勅撰石蔵山 山城 東石蔵 小石蔵 石蔵郡 已上三ヶ所 勅撰石蔵山 山城 東石蔵 小石蔵 石蔵郡 已上三ヶ所

拾遺九

稲荷山 紀伊郡 後三條院 河始 与 約 筆 与

拾遺八

痛病山 紀伊郡 後三條院 河始 与 約 筆 与

拾遺七

石村山 大和 社 長 住

拾遺六

石村山 大和 社 長 住

下野國下都賀郡 太田村 上番地 山土家光信

下野國下都賀郡 太田村 上番地 山土家光信

後標

碧嶽山

新古今 碧嶽山は山名なり其の山は

いそ山首の下より打懸ひ人のいそ山流してなり

伊駒山

大和

延喜式 伊駒山は伊駒麻曠駒

伊駒山は伊駒麻曠駒の山なり其の山は

河内

日十三

妹ららるる母ららるる伊駒山は伊駒麻曠駒

日十三

若くはらるる母ららるる伊駒山は伊駒麻曠駒

日十三

夕されは伊駒山は伊駒麻曠駒の山なり

日十三

妹らあはれは伊駒山は伊駒麻曠駒の山なり

去来見山 伊駒

わさしも子もいそ山は伊駒麻曠駒の山なり

石山 近江 滋賀郡

新古今

都小と人を約は石山は伊駒麻曠駒の山なり

伊駒山 伊駒郡

百八

いそ山野は伊駒山は伊駒麻曠駒の山なり

板倉山

詞苑十

板倉山は伊駒山は伊駒麻曠駒の山なり

石山

續古七

伊駒山は伊駒麻曠駒の山なり

右は伊駒山は伊駒麻曠駒の山なり

伊駒山

拾遺十

あはれは伊駒山は伊駒麻曠駒の山なり

備中 大蔵書目録

全五巻

香かきふさふさの積かまうと名をうけし花はよりの威

伊吹山 目下記本は伊吹山延喜寺伊吹山

冬ゆゑ野みか多りといゆる伊吹のこし吾はめし好忠

美濃不破郡 伊富及神社

後拾遺十一

かゝるふえやいふされうと草部も志しなるあり

因幡山 八重寺抄并絶道 美濃玉之

立別なまへふさふさの嵐よあふ松うきさう今ゆり人の平

磐石山 陸奥

千載一

思しこもいそこのお年とて栝やそふ人首は神木歌傳

今事お成り川のみよとやいそふ山は石の下あり歌傳

五

石鳥山 因幡取見

志しゆりいそれこのいれさる命とて鳥もあつて是人丸

磐坂山 丹波

後拾遺九

いそ坂りこの岩のよ効くりされいよふ若母山 近房

入依山 但馬

後撰七

梓弓入さこの山は梅霧のあつらこも又ゆさる足 宗三

あさり喜れけきふ威ふり入さこの山は霧たふし 長実

夕月入ささむらむられ母たふし雪郭こふ山 宗家

磐圃山 周防

まふちるいそ園いそとく人首はま向うせふあむいそ

妹背山 紀伊 伊都郡加太郡一交之

同七(百五十三) 新祥

大るしらすくあはれ秋のほろろいしよのいしよ人凡
今すあやの国そわりのあきあひつしよのいしよ
いしよあやの国そわりのあきあひつしよのいしよ

練原

五回郡

百

あはれいしよのいしよのいしよのいしよのいしよ
いしよのいしよのいしよのいしよのいしよのいしよ

尾根

磐城

駿河

百十三

いしよのいしよのいしよのいしよのいしよのいしよ

は根

山城

お果郡

後撰十八

いしよのいしよのいしよのいしよのいしよのいしよ

花

宇治郡
六度寺

紀伊郡

漢朝在日名

いしよのいしよのいしよのいしよのいしよのいしよ

羽買

大和

漆上郡

百

いしよのいしよのいしよのいしよのいしよのいしよ

泊瀬

城上郡

長若寺
斗力雄社

有神社

日七

いしよのいしよのいしよのいしよのいしよのいしよ

いしよのいしよのいしよのいしよのいしよのいしよ

いしよのいしよのいしよのいしよのいしよのいしよ

いしよのいしよのいしよのいしよのいしよのいしよ

いしよのいしよのいしよのいしよのいしよのいしよ

いしよのいしよのいしよのいしよのいしよのいしよ

いしよのいしよのいしよのいしよのいしよのいしよ

羽来

栢津

能勢郡

尾根

いしよのいしよのいしよのいしよのいしよのいしよ

に丹生山 大和 吉野郡
むらたきあふぬと都ふあふのこしよまゆ

ほ細川山

しほ細川山 山城 葛城郡 山形

二常盤山 山城 葛城郡 山形

田生るこはものこふ都ふぬりありつこま

り工 乃若の若殿のこは若下いこがそあぬまゆ

紅葉をぬらぬれいおほ鹿もあまゆてや秋迄

秋こらあはあるありのりまふやこはのこも喜

秋まこいこはをたふるま風もうつるまらお

春秋とあぬ若殿の山守侍人今之盛もつらぬ

鳥羽山

紀伊郡

あふたこまふまれ約つそわの承りつるこの月

泊瀬山

大和

ゆりここのさうさゆこあからぬまをのこお鹿

鳥籠山

近江

大上郡

あふたこまふまれ約つそわの承りつるこの月

あふたこまふまれ約つそわの承りつるこの月

あふたこまふまれ約つそわの承りつるこの月

あふたこまふまれ約つそわの承りつるこの月

あふたこまふまれ約つそわの承りつるこの月

あふたこまふまれ約つそわの承りつるこの月

あふたこまふまれ約つそわの承りつるこの月

万六

日七

日七

日七

日七

日七

日七

日七

日七

日七

日七

日七

万六

日七

日七

日七

日七

日七

日七

日七

日七

日七

日七

日七

日七

日七

女良

夫後云

不

了知

天皇

三三

大進

俊成女

秀能

純宣

白紙
おとせ神の代はせる藤原のさう海より若うたさう 貴之

後櫻井
と小塩山 山城 上刑部大原野

大原野とくあひさるこね原もやうさうさう母のけし 貴之

三条院の村大嘗會の山嶽さうさうての品

書のはゆるさうさう大原は信約さうさう井尾

長和山人父母不詳の許さうさうさうさう

後拾遺千九
世かこしおさうのさうさうさうさう小塩山は山嶽

セー

小塩山積とみさうさうさうさうさうさうさうさう

新九
身すさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう

小塩山 葛野郡 上刑部

夕月夜さうさうさうさうさうさうさうさうさう

おとせ余花はさうの郵さうさうさうさうさうさう

春さうさうさうさうさうさうさうさうさうさう

倉さうさうさうさうさうさうさうさうさうさう

さうさうさうさうさうさうさうさうさうさう

鳴尾の祓さうさうさうさうさうさうさうさう

小野山 おも岩郡

日檢六
おとせ初雪さうさうさうさうさうさうさうさう

新和
さうさうさうさうさうさうさうさうさうさう

春野山

おとせさうさうさうさうさうさうさうさうさう

伴家 大原

小塩 井尾

伴家

貴之

右原

仲平

後人

和知

歌季

不人

源春

地模

後和

おとせ

竹取の 一説は並の

雨守の御妻なる御妻の御心よふ人乃神を奉る
御心
御妻
御心
御妻
御心
御妻

春日の 大和 添上郡

春日の御心乃神の御心乃神の御心乃神

春日の御心乃神の御心乃神の御心乃神

春日の御心乃神の御心乃神の御心乃神

春日の 神心

春日の御心乃神の御心乃神の御心乃神

春日の御心乃神の御心乃神の御心乃神

春日の御心乃神の御心乃神の御心乃神

春日の御心乃神の御心乃神の御心乃神

春日の御心乃神の御心乃神の御心乃神

竹取の 葛下郡

聖徳太子 用明天皇の子 賜達磨和尚 南天竺香
西母用入女御 至王弟三

春日の御心乃神の御心乃神の御心乃神

春日の御心乃神の御心乃神の御心乃神

春日の御心乃神の御心乃神の御心乃神

春日の御心乃神の御心乃神の御心乃神

春日の御心乃神の御心乃神の御心乃神

長元九年米菴院一乘院中二皇子御子御時

常會宮基方神遊上皇の後の室大女并丹波國之

神道白紙山 伴現 度會郡大神宮産 友 義志

神道山 伴現 度會郡大神宮産

神道白紙山 伴現 度會郡大神宮産

神道白紙山 伴現 度會郡大神宮産

隱之山

我五十一之山 伴現 度會郡大神宮産

鏡倉山 相摸 鏡倉郡

鏡倉山 相摸 鏡倉郡

鏡倉山 相摸 鏡倉郡

鏡倉山 相摸 鏡倉郡

鏡倉山 相摸 鏡倉郡

鏡倉山 相摸 鏡倉郡

鏡倉山 相摸 鏡倉郡

豐前

鏡倉山 相摸 鏡倉郡

鏡倉山 相摸 鏡倉郡

鏡倉山 相摸 鏡倉郡

鏡倉山 相摸 鏡倉郡

鏡倉山 相摸 鏡倉郡

鏡倉山 相摸 鏡倉郡

鏡倉山 相摸 鏡倉郡

後撰十の 秋の風をよめる歌のうらみ海は海はさき

樹心

新初 久世の月をよめる歌のうらみ海は海はさき

鴨心

石見

五二 鴨心の若狭のうらみ海は海はさき

神茂心

紀伊

本妻郡 在神社

後古 見よみ神のうらみ海は海はさき

電心

筑前

沖笠郡

元浦のうらみ海は海はさき

もとらてのうらみ海は海はさき

りもろく書はあつらひ

春のうらみ海は海はさき

あともうらみ海は海はさき

可也心

糟屋郡

草枕のうらみ海は海はさき

神垣心

うらみ海は海はさき

吉野心

大和

吉野郡

うらみ海は海はさき

うらみ海は海はさき

うらみ海は海はさき

梅花のうらみ海は海はさき

風飛

新初

新初

全無九

後撰八

百

日

後撰

後古

五二

新初

後撰十の

費之

基後

幸清

定信

源

後人

後

後

後

横山 茂苑

妹とてあひのらんまの海より此のよしの志

たさ雄山神宿山城 葛野郡

さき名のさきあはれいひつる君あつては

高園山 大和 添上郡

春の志くはさるるのこは様あはれあは

春日山日狭河内 高野郡

高城山 志野郡

さきの岸の藤乃女あつて神さつてとて

さきの若くあつてとて此の根もあつて

高城山 志野郡

さきの山は城のこは白雲の山にして

日向山 八重坂大和之龍魚抄近江國

さきの山は花の山とて日向の山は

高野山 高野山 高野山

里毎にあつてとて此の山は

龍田山 平群郡 在神社

冬も鷹のあつてさ回の河内

花はるまも作らさるるさ回

さ回の山は山は山は山は

新田の山は山は山は山は

さ回山は山は山は山は

^白と天^心
 高城郡 五社
^白かつたき天のころ楸花をわはよそよんとて
 高角^心
 石見
 石見のたまたはこる本のるる我^心と妹^心人^心丸
 日
 といはれはさここのるあるる我^心と神^心と子^心馬^心人^心日
 高角^心

^五高角^心
 高角^心
 高角^心

^白雲^心の指^心るるふ^心芳^心あてたはこ^心麻^心為^心
 高角^心 遠^心
 高角^心

^五高角^心
 高角^心
 高角^心

^白高角^心
 高角^心
 高角^心

後^心あれ^心中^心と^心照^心月^心の^心心^心
 高角^心 高角^心

^白高角^心
 高角^心
 高角^心

^白高角^心
 高角^心
 高角^心

^五高角^心
 高角^心
 高角^心

^白高角^心
 高角^心
 高角^心

^白高角^心
 高角^心
 高角^心

^白高角^心
 高角^心
 高角^心

後撰

うねりともさしき音さく尾上のあすまを
大に和歌うの上とてかきとてあつちり

くよと約りる也

干我

も初もの標笑ねま指さる仲つあ浪
い并魚津白浪と浪さる若情あそ

高倉心 備中

詞歌

おしもてさる念いよむ地あさる母れと兼
高野心 紀伊 住部郡合耐峯寺

十九

晴とも好れしと約行も音乃下よとあふ月
う神振心 大和 吉野郡

万三

わさしと神あさるのうねりの人も世より思初人丸

十

日記もさ神あさる春さそとあふ乃衣立海乃
つ後波心 常陸 筑波郡

万七

梅の吹風りくつさほくもたは成虫そあぬ
は撰十

核

しとさそ思ほくもたは梅さるそあふり
手まるる梅波の心乃ほくも我あふり通つ

新

はくささあさ志あさる志あふりあふり
な 奈良心 大和

万

君小虫いしもさあさる心乃小松さる
あふりの成るお兼もさるあ何あ雨あさる

は撰

事とささるあさるあさるあさるあさる
長等心 近江

後人
松七
王
新七
連庫心
の志 鳥

と浪のさくらとよきとていぬとちうと海軍我を

長田心

毎とれありまよとてたぬらるも回らふの辰の松
普原 為政

中村

未勘心

看代中村心 柳葉と牛馬人のまよふま
源 為政

那良志心 大和

秋きとあがれ心よふこる君よひるを物のみ
赤人
吹風とまじり心の桜花れりくそらおとさ
後人 石知

馬場心

山城

春草とまじり心とてくはら使らるま也

碓氷心

上野

碓氷郡

日の暮ふくすいこの心と越日るの神よふ
日

宇治心

山城

紀伊郡

我帝都のふらまはるそ後世と宇治心
森標
宇治心
新七
は標七

花山心

新七
道
心

宇治河の 大和

夏夏後後古古宇治河の御風さむ様おろ衣千々依保いもあふ大和

宇津の 駿河

都少と衣さうらひの御衣さう御衣下道雲

日十 ちりうらひの御衣さう御衣さう御衣下道雲

神の御衣さう御衣さう御衣さう御衣下道雲

宇津の 對馬

御衣さう御衣さう御衣さう御衣下道雲

卯花の 越中

かへらぬのあふ御衣さう御衣さう御衣下道雲

か猪飼の 大和

あまらるおのひの御衣さう御衣さう御衣下道雲

猪名の 橋津

あまらるおのひの御衣さう御衣さう御衣下道雲

あまらるおのひの御衣さう御衣さう御衣下道雲

の 後津

あまらるおのひの御衣さう御衣さう御衣下道雲

大内大内の 山城

あまらるおのひの御衣さう御衣さう御衣下道雲

あまらるおのひの御衣さう御衣さう御衣下道雲

大原の 上州郡

あまらるおのひの御衣さう御衣さう御衣下道雲

あまらるおのひの御衣さう御衣さう御衣下道雲

大原野の条と

本指しゆくも事なれどもちね指を大原に

同防
同防

當國を兩取

也
岩部

大原に乃降す一國とすてか子らと

後人
不知

男もささくともみり大原に乃秋のク人著

坂原
國房

男に

久世部

女部花うとてつそりる男にありそり奥に全通

大野に

大和

大野に男立わり我よりおとそれ風は霧立

信良

大野に

久世部

大野に男立わり我よりおとそれ風は霧立

信良

奥津路に

補生部神社

女乃と奥津路にあすの我思ふ妹も書れ

母に

美濃

おとよ事いふもいふもいふもいふも我舟に人泊り

大原に

丹波

桑田部

丹波の女乃の玉うとて人乃我思ふ

大原に乃乃のをりんもいふもいふも天

鞍馬に

山城

石部

大原に乃乃のをりんもいふもいふも天

位なる部の月乃もいふもいふもいふも

暗部に

梅花白くまらぬ梅のこころもいふもれあるくそは 貴之

我恋まらぬ梅のこころの梅の花さるるおとしぬ海さき則

我まらぬ梅のこころの梅の花さるるおとしぬ海さき則

君の縁まらぬ梅のこころの梅の花さるるおとしぬ海さき則

標榜の 大和 城上郡 一和丹後余佐郡

くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

の月屋まらぬ梅のこころの梅の花さるるおとしぬ海さき則

単番の 標津

と照り那波まらぬ梅のこころの梅の花さるるおとしぬ海さき則

位の 花彈 益富郡六位益富本佐也

二葉たまひく雲まらぬ梅のこころの梅の花さるるおとしぬ海さき則

位の花まらぬ梅のこころの梅の花さるるおとしぬ海さき則

墨髪 下野

じまらぬ梅のこころの梅の花さるるおとしぬ海さき則

じまらぬ梅のこころの梅の花さるるおとしぬ海さき則

久米依良の義依 久米郡

とゆまらぬ梅のこころの梅の花さるるおとしぬ海さき則

矢野神の 未勘酒 但作規ん

はらまらぬ梅のこころの梅の花さるるおとしぬ海さき則

山野色

草枕様まらぬ梅のこころの梅の花さるるおとしぬ海さき則

百三

百二

百一

百

百九

百八

百七

百六

百五

百四

百三

百二

百一

百

百九

百八

百七

百六

百五

百四

ま松尾山 山城 葛野郡

一条院御時寛弘元年甲辰始ち約業始ち東

後撰下

子もゆわ松尾山の陰にけいふふそちとせり始ちゆわ

年とま松の尾やまの茂きそと久しかるぬき

同日

之のち河せれ旁や晴ぬ人柱のおこし出る月新

巻向山 大和 城上郡

百

巻向のふりひさひのたぬのこも世も種なる人

日

いも神も現りこの物露よ白ふお業始ちあは

待乳山 宇治郡 紀伊下総女

後撰下

いも神も現りこの物露よ白ふお業始ちあは

新右

日十二

あふますちのこれ物とあはゆは縁とさるる日

下総

百二

あふますちのこれ物とあはゆは縁とさるる日

約巻山 栲津

洞花一

あふますちのこれ物とあはゆは縁とさるる日

雲山 淡波 河野郡

景徳院すまをせゆひたる可也身松

ふかより身松いたる可也

大徳院 肥後 田原 内約

後人

松山乃すうふう吹をそむらひて悪風之見
中絶
すうふう吹をそむらひて悪風之見
二条院

松浦山 肥前 吉浦郡
吉浦郡 八幡町 松浦山

を以て松浦と名事也よしきありりあるふ
松浦山 信長

ふ 涼草山 山城 礼伊郡

を輝くともつとそくそめ川津守増ふたて
信長 備前 備前 備前

友たれ津守の郭を吹却志く成海より
備前 備前 備前

佐見山 宇治郡

ゆき松の陰より足跡をくあらる面杖風を吹
俊成

布面山 大和 山邊郡

磯とあつたのこらる板村の田をくくき若あつた
丹生

磯とあつたのこらる板村の田をくくき若あつた
遍昭

二村山 冬河

くしとらあやふちくまうく二村山とあつた
備前 備前 備前

くしとらあやふちくまうく二村山とあつた
備前 備前 備前

八月や二村の郭を吹つた吹却志く成海より
俊成

備前山 駿河 備前郡

てはあつた志くまうく二村山とあつた
遍昭

くしとらあやふちくまうく二村山とあつた
遍昭

くしとらあやふちくまうく二村山とあつた
遍昭

船本山 長濃 又まの備前集りたり

越中八郡のこころを兼此秋はさしこむるは通俊

二下二 越中村の郡大和葛下郡の同夜

二上二 越中村の郡今もさぬ者もさぬ

二下二 越中村の郡今もさぬ者もさぬ

二下二 越中村の郡今もさぬ者もさぬ

藤坂山 寛平四年基風信弁

紫乃若坂は咲花の母のありは君の考も

二物山 山城 お糸郡

二下二 越中村の郡今もさぬ者もさぬ

巨勢山 大和 葛本郡在神社

二下二 越中村の郡今もさぬ者もさぬ

我を成と恋のせいのこころを兼此秋はさしこむるは通俊

己の目と心

衣のふらふらの風をこころにさすは君の考も

恋山 出羽

恋のこころを兼此秋はさしこむるは通俊

越山

越山 越前中後三ヶ条の何れもさぬ

智徳太子を記云越後國古志山

そは古志の郡といふてゆる也

越大山 越中 新河郡

三書ありは大山といふてゆる也

わが風心

山城

葛本郡 山形

朝まゝ此の風心はのまゝくはるる業乃後之辰今之辰
ふん今之風の心風は今之辰其都其辰
世中とあるとてねむる河津は心風心は心也 歌伴

朝日心

河内郡

村鹿といふ治の川旁にありて雲かよふの釣云實

近江

仁治三年後醍醐院の時大嘗會書徳紀方凡

あまのり此世の初る朝日心天照神也先河内

逢坂心

後醍醐郡

むらさきふあ坂心志の藤ふふ出さして水邊

春の付逢坂心は春の清なる木もれらるる心

日影もふあ坂心の影もれらるる心

お業と聞かばお業と聞かばお坂心と云ふ本松

是のころむらさきふあ坂心は松の葉白くお坂心

早妻心

糸心とてあまの心糸心志のそふあまの心

こころよもあまの心糸心志のそふあまの心

空仰心

大和

城上郡 在神社

あまの心格さす心糸心志の約君の心

まの向の心仰る心糸心志の約君の心

天香久心

十市郡

後人

馬車わらひとふいへくひらりあふしと書さすよ 大伴

はしり神さふらるるここのむけりしと書あふ 人丸

雲海は嵐の柳うらみ月ふりらるる 後成

吉野郡 龍魚の付集り枕大和也

さうしくも垣ぶのこま 延喜式月八むせと書垣ぶま

有馬の橋は 在温泉郡社

あうらわりのよき 有馬の又寄る女宿人丸

朝熊の伊勢 度會郡 有社

徳之れま 世ねん物も徳心と照す秋のれ 延喜

足柄の相模 足下郡

我せ とやまをなるとさうとふ 足下郡

足柄の守ふ とて今志を誰と書さんつ 忠え

安之保心 常陸

はく と祿のそらふ 又あるあは 何れか とと祿

浅向心 信濃

雲晴 あさ たむ あさ 海 や 人 心 と 中 真

いづ ふ さ も あ さ 海 の 夕 輝 里 こ ひ ら る を さ の 稚 徑

安積心 上野

こ も あ そ と つ ら 野 と む ら こ ひ の 地 と あ や

安積心 陸奥安積郡書換 延喜式 安積郡 日

時 ま ら て あ る 時 の 用 す と あ ら は ら る ひ ね ん 年 孫

あさひの陰さへもろくの軒は清いを思ふ物さ新女

會津山

會津郡

表はは母なる星の川物とあひの山乃ちる付也後橋十九

島羽山

表野

八重子抄再絶道抄表野

嶺轄

白雲のうづめ如くり水のの青野のふ乃又た心百八

まろい涼らりらなる青野の山のかの夕風新七

有乳山

越前

敷島郡

三乘

心よりけしあきらめははたのあはる事さ人丸百十

打なじりしはあきらめははたのあはる事さ人丸金

是るまにきくはあきらめははたのあはる事さ人丸日

是古山

丹後

川海りのうづめ如くり水のの青野のふ乃又た心中納言

秋坂山

貞應元年埴垣河院院母小白河院時大尊

會王基御屏風

初阿多ゆりよりしをあすより秋坂の紅葉を百七

阿波山

阿波

才也れも雲の舟にありあはるもて浦舟泊るは百

朝倉山

越前

上庄郡

郭の船舎に曙の光る人もさ夜をけらるる志也新は橋

安佐治山

對馬

後云
成伴

舟の船もつる清はあきらめははたのあはる事さ人丸百人

安部信山 未勘圖

百之九 西より東へ流るる川を流るる様子を記す

河自久麻山曰

河自久麻山曰 河自久麻山曰

後徳又 侯藏の 山城 葛野郡

侯藏の 山城 葛野郡 西原 河原 家

鷲野山 久世郡

白鳥の 鷲野山 久世郡 白鳥の 鷲野山 久世郡

佐保山 大和 添上郡

さびた大夫人の 佐保山 大和 添上郡

卯花の 佐保山 大和 添上郡

佐保山 大和 添上郡

新井月内 佐保山 大和 添上郡

新井月内 佐保山 大和 添上郡

さびた大夫人の 佐保山 大和 添上郡

卯花の 佐保山 大和 添上郡

佐保山 大和 添上郡

佐保山 大和 添上郡

佐保山 大和 添上郡

佐保山 大和 添上郡

松道六 文段山 信濃 文段郡

月影あつさうさも 文段の山乃梅原よちのすき君貴之

依美山 讃岐 大田河内郡可也

ほつとつりてなきゆゑのさ野とのふ秋さふ人丸

着相山 大和 添上郡奈良良のむね

悪衣まきまのこよは馬のまの何の我らふい

象山 吉野郡

やまのふつてくらんふこるさ中さふひそ病黒大

見よれささこまふよそる松い秋風まきまのむね

来増山 左の滋賀郡 在比敷のむね

つせこまきまのこつと君もまきまのむねの若人丸

吉備中山 備中

さう称さきさひ乃中山帯もきる細首の若れやうさ

若乃吹よいもてや海路称ささの中山まきまのむね

さ現さささの中山まきまのむねの松乃海路

本綿山 吉備

しまうとれちの髪とゆふさ乃もさうさうそ歌あつらん

男もふつまきまのまきまの中山まきまのむねの若れやうさ

本綿麻山 未勘園 一伝筑前

悪法おんまきまのむねの若れやうさの表と田乃のつと

三宮山 山城 宇治郡

むらもまきまのむねの若れやうさの表と田乃のつと

日二又後古 冠 大蔵

三岐心 大和 添上郡

三岐心 大和 添上郡 三岐心 大和 添上郡

三岐心 大和 添上郡 三岐心 大和 添上郡

三岐心 大和 添上郡 三岐心 大和 添上郡

三岐心 大和 添上郡 三岐心 大和 添上郡

三岐心 城上郡

三岐心 城上郡 三岐心 城上郡

三岐心

三岐心 三岐心 三岐心 三岐心

三岐心 三岐心 三岐心 三岐心

三岐心 三岐心 三岐心 三岐心

三岐心

三岐心 三岐心 三岐心 三岐心

三岐心

三岐心 三岐心 三岐心 三岐心

三岐心

三岐心 三岐心 三岐心 三岐心

三岐心 三岐心 三岐心 三岐心

三岐心 三岐心 三岐心 三岐心

三岐心 三岐心 三岐心 三岐心

三岐心 三岐心 三岐心 三岐心

三岐心 三岐心 三岐心 三岐心

三岐心 三岐心 三岐心 三岐心

三岐心 三岐心 三岐心 三岐心

三岐心 三岐心 三岐心 三岐心

三岐心 三岐心 三岐心 三岐心

南関山

万十 次第に山に上りて白雲を望むとて紅葉あり

三上山

四七 山名の多し深くはあら酒の三上をたのむ事にして人凡

又深き三上の山に若くは昔に昔に我に四の山あり

神をたじろふ山の柳葉神乃事今もあひ

三上の山も昔に昔に人雷の下に若くは昔に

神場の山に若くは昔に昔に花の志出はけ

三上の山も昔に昔に山に若くは昔に

神の山の三上乃山に昔に昔に吹ふと秋に

水尾山

水尾山 水尾山 水尾山

水尾山の山も昔に昔に山に昔に秋に

三上山

万十 見ふに積りて山に昔に昔に秋に

水尾山

水尾山

水尾山

三上の山も昔に昔に山に昔に秋に

三上山

三上山

千十 山名の多し深くはあら酒の三上をたのむ事にして人凡

又深き三上の山に若くは昔に昔に我に四の山あり

神をたじろふ山の柳葉神乃事今もあひ

三村山

新和 山名の多し深くはあら酒の三上をたのむ事にして人凡

徳在卷

美濃中山 英徳 不破郡

久うる見所中山秋あして又をさうあふ坂の園 定家

美濃中山 同郡

新在よ

男山ふらふおふら松茨ーといはと意事い 信胤

每知能く心陰奥

百六

止るさこれ代はる人さ来るみられ心よ金花咲 源頼朝

三徳野山 絶作 牟婁郡在神社

新在九

男よじと若さうま寸尺高れぶらひあひ来と 天正

志豆持山 臨河

風

毎考を志法はるこの水日小都のあさるま書 知家

仰達道心 仰達道志波説万葉集 後

百七

あふ角乃信はるさる志をこ志あてとよも 信長

塩山 甲斐

百七

塩乃心この磯小伯さる若さ代と心毎さる

滋賀樂山 近江 申賀郡

金三

幼み雪海ねまこ志うまは柱乃そま心釣後ねん

百十一

眼目こそ教あらうまうまこのさ心乃教まめ記小租 租

白月山

百十一

あううまう月山乃さ心うう流もあすありん 後人

滋賀山

拾二

楊花みらんぬまそあふららう心ま志此心越

志賀乃心越心く

成光 楊

百一十
白雲の雨のしほ海もは教の咲花うきつらな 秋分あきぶん

志加山 越前 糟屋郡

百一十二
志加山あられきりそはちあふすはむとて思ひ

信濃山 陸奥 佐々郡

百一十三
郭の初秋のさのふりあつちをた危ふき也 ちん

百一十四
いふきんあふりふのしほ兼志の海よりあふき 二葉江 常陸

百一十五
金髪とるし物思ふと下ふ高恨ありり 備

塩津山 越前 敦賀郡 八重の海并花並抄越之 近々也又四巻也

百一十六
塩津山うらふきし我のしほ釣そはははくあふき はな

百一十七
知れぬしほふり塩津山あふちかた はな

白山 加賀 石川郡 在神社

君のあつちの白雲は秋の雲もあつち あつち

塩干山 未勘國

百一十八
美濃のしほ海とてしほあつち あつち

氷室山 山城

百一十九
下ふり氷室山しほは揚清ありり 原 仲心

百二十
あつちのしほありり 大勢 大行

比良山 越前 敦賀郡

百二十一
比良山あつち あつち

百二十二
横吹山あつち 九葉 良経

人面山 紀伊

百二十三
昔あつち あつち

日 乃重とある人國の事業とてあるはるる人

日御心 未勘國

日 乃重の心御とてこれ業とてあるはるる人

一重心 曰

乃重の心御とてこれ業とてあるはるる人

守心 近江 野洲郡

乃重の心御とてこれ業とてあるはるる人

世姓心 紀伊 伊都郡

乃重の心御とてこれ業とてあるはるる人

寸段心 伊都郡 伊都郡

乃重の心御とてこれ業とてあるはるる人

未松心 淡路 名取郡

乃重の心御とてこれ業とてあるはるる人

乃重の心御とてこれ業とてあるはるる人

二 順

伊吹心 美濃 不破郡 近江國 菟道郡

乃重の心御とてこれ業とてあるはるる人

今来心 紀伊 金剛峯寺

乃重の心御とてこれ業とてあるはるる人

妹のありまきしは原よ浪きくつるまの末方人 宇治 菅女

は白瀬原 大被上 城上郡

初瀬の原の桜花うらたえけく白くま風 赤松 山家

を小倉原

白雲の素いささきとて風花 新衣 定家

風越原 信濃

風の原のふくみ方阿のち梅葉の物 右原 家持

白木の香吹おるま風うらたえけく 徳政 権

よ吉野原 大和吉野郡号大草金草神社

大願の思ふけと桜の花 今

を後さふ 今

修の乃 今

何あも 今

た高野原 紀伊 伊都郡金野寺 徳政 権

今 徳政 権

つ筑波根原 常陸

長久

徳政 権

ふ正原 越中 村水郡

百十

わ有乳原 越前 敦賀郡

徳政 権

三 山高

伊勢 大和 平群 郡

秋高のこころもさる人伊勢のこころもさる人

河内河内郡 西園寺

新編

難波津と津とていふ神さる伊勢のこころもさる人

吉野 大和 吉野郡

三書 吉野のこころもさる人 吉野のこころもさる人

大書 吉野 吉野郡

大書のこころもさる人 吉野のこころもさる人

大和 城上郡

大和のこころもさる人 吉野のこころもさる人

信濃 小縣郡

信濃のこころもさる人 吉野のこころもさる人

大和 城上郡 月夜

大和のこころもさる人 吉野のこころもさる人

吉野 吉野郡

吉野のこころもさる人 吉野のこころもさる人

根

伊加保根 上野 群馬郡

伊加保根のこころもさる人 吉野のこころもさる人

甲斐根 甲斐 風俗奇

いよいよこの根をいよいよ吹風し今ももやま地も人

吉野之根大和 吉野郡

みよけ之根の根葉より白くまじり

た多胡根 上野 群る郡

ふたね根をさるるくまじりある名志の

つ筑波根 常陸 筑波郡

はくね根の新葉もあしあし表みり

筑波根のあらの花極くふく

ふ富七之根 駿河 富七郡

ゆの根ふらとる君の月

あつと富七之根を清く清く

日くふと根のまの

越白根 加賀 石川郡

うぬの根はじきとる

加賀弘仁十四年より

万葉の所越前の時録

あ 會津根 佐奥

あひの根のふと

有乳之根越前 敦賀郡

吹風あらし根をさるる

い 皆良き根 へり

さ 浪や此の根の山下風お葉と海は地 はる 花

比古き根 共前

い くらんてむこのさ 杉の地よりふま 海は はる 花

尾上

い 若代尾上 紀伴 目ま部

若代乃尾上の風ふ 幸少れ 松のみ はる 花

い 泊瀬の尾上大和

花の冬 秋若き はる 花 初瀬の尾上乃 陸は はる 花

い 吉野の尾上

い けい 吉野の善ぬりぬん 尾上の花 はる 花

い 高砂尾上 情 繁 或る初 はる 花

い 初 初 初 初 初 初 初 初 初 初 はる 花

い 園尾上 大和

い 秋 秋 秋 秋 秋 秋 秋 秋 秋 秋 はる 花

六 巻

い 若代巻 紀伴 目ま部

い 若代 若代 若代 若代 若代 若代 若代 若代 若代 若代 はる 花

い 初末 今 はる 花

今 巻

い 藤浪のち はる 花

い 入目巻 末 巻

後院 筑前守のりし其の原ら書て合し是よりすはる

カ 鳥見 山城 葛野郡

美作守とすしとある邦鳥の墨より松のみり

川見 大和 葛下郡 山城守葛下郡を治む

干 行見のひらの原推すはる年此夏の陰より

春雨の降そめらり行見とす野原と清緑なる是後

支那見 河内 支那郡 延喜寺川見

干 一とらもさる墨の流形子とすはる人つるはれ

な 鎌見 山城 葛野郡

後干 ありし年とすしとあるはるのひら墨の松原書神助

明良師見 大和

右置するの墨の形とすてちるはる書る也

日 秋とすはるはるはる春よりしを來はるあふふ人

日 神ありのいせは毒の形とすはるはる人

し 向見 武見 一説河内

日 いてる向の墨とすはるはる花のまはる也

新 武見野向の墨の筆とすはるはる也

カ 井筒見 大和

百 洛書ありふあふりそみりはわりの墨の用はる也

ヤ 八塩見 山城

新 知りし墨ははるはる深くはるはる人

ま 檀見 大和

糸竹 伴光

日
さらさらしるしるしるのあはれり
よそよそもはるかに春をせしむるのあはれり

日
舟をり野中ふらふら花をさかぬ人あり
後人

日
橘の香は秋あふれしこの思ふ家出づる
朝日照すこの思ふ馬のふるふは年比と

日
初風の香は秋あふれしこの思ふ人今もあはれり

日
香ふよそあはれし思ふ人今もあはれり

日
あはれし思ふ秋萩はふるふはあはれり
大和 葛野郡
大和 葛野郡

日
見よ思ふその母は年とふるふはあはれり
大和 葛野郡

日
秋風は日毎もあはれし思ふ本業はあはれり
水まの思ふはあはれし思ふ本業はあはれり

日
志も思ふ神はあはれし思ふ本業はあはれり
大和 紀伊

思ふ 河内

約余りかゝるて都に拙曲のの思ひ人 はる

信史畧 陸奥

何事ともあつたの女席花田の能く歌もあはは 後史

七 坂

碓氷坂 上野 碓氷郡

五十 いまさらうすひの坂とていふ妹もあはは 後史

伴津波多坂 越前

百人 海らさばあはは 此坂小社事我と思

に大坂 越中 武大和

日十 おもさうとあはは 此初業とるる村

く久世野坂 山城 久世郡

日 山城乃子の魂の坂 此の喜とてつた

ふ藤作湯坂 紀伊 若草郡

日 友代の家とてあはは 我我子

わ足柄湯坂 相模 足上郡

日 足柄のあはは 神とてあはは

逢坂 近江 滋賀郡

後撰上 あま坂のあはは 我我子

新衣 逢坂積の衣とてあはは 此坂とてあはは

き本宮津坂 信濃

後撰 行徳津のあはは 此坂の神とてあはは

後史 吹のあはは 此善風指とあはは

行相坂 紀伊

行あひ乃坂の梅原小用乃松乃花とを人々

八 溪

鹿溪 山城

羊畑の事あるの若小もあうく照見のりくもあ

し 越中

赤岩の二下よりそ子らひもある者

九 松

泉松 和泉

美木乃り松はよき民也むしとく恵海

小比叡松 近江 滋賀郡

太いえやともむえの松よき木乃り

口 我松 日向 豊後 豊前 豊後 豊前 豊後 豊前

おほもろく海世の民小あひ我松

阿彌多羅三尊三喜提の仏達我松

く 栲木松 中興郡

年守と人小次とあぬ我松

花咲ぬ栲木の松乃松人乃

わ 樟松

美木乃樟の松とあまふて難波

水尾松 日向 豊後 豊前

高松乃人あの中松とく

し 滋賀末松

甲斐郡

於ふ雷よりぬきこきし松乃松なるはなはた遠

し 目高松 美濃

世と照し目高松なるを志けさみけし松乃松 支後

十 震

し 笠置直震の城

名乃松乃松の城なるの毒もいそそ此のいも 笠置

し 三種震 紀伊 日高郡

志のまらさあはれうまらるるまは震のいれあぬ

し 志那震

志那震なるすまらるる神乃松乃松なる乃志那震なる

十一 氷室

し 宇多氷室の城 葛野郡

宇多氷室の城なるは氷室なる松の下に 氷室

十二 炭電

し 小野炭電の城 赤松郡

小野炭電の城なるは小野なる松の下に 炭電

初山と初雷と小野の松の炭電焼海なるは 炭電

大原炭電

目高なる雷乃松乃松の城なるは 大原

目高なる雷乃松乃松の城なるは 大原

十三 隈

三 花火漫 大和

伊予の... 萩の... 萩の... 萩の...

た 武漫 淡奥

其の良淡奥守... 武漫の...

指くゆり... 指くゆり...

又お前國... 又お前國...

後撰七 杜... 杜... 杜...

武漫の... 武漫の...

此因は... 此因は...

此行も... 此行も...

武漫の... 武漫の...

經伝... 經伝...

野火焼... 野火焼...

我之... 我之...

の 阿武漫

あふ... あふ...

佐 捨限 大和

羨ふ... 羨ふ...

さ... さ...

十 龍

稲荷... 山城... 紀伊郡

龍の... 龍の...

後百十
稲尾胤 大和

年と好む汝くふふふ事人ねる信乃信乃信乃信乃信乃

貞氏

金葉之
三戸新瀨胤 山城 高野郡

大野川ちる新葉ふふふふふふふふふふふふふふふふ

奉仁

右野河の身は胤小少くもふふふふふふふふふふ

信仁

後百十
胤小少くもふふふふふふふふふふふふふふふ

信仁

わ 布の胤 楊津 八都部 出奥

其の胤も依ふ事ある人等よりある布の胤

信人

を音羽胤 山城 新野郡

今
左の音羽の胤は青小ふ人乃志之我患め

守女

青小胤 紀伊 新野郡

悉くしと猪を屋小部もさうある汝也音を

中絶

右七
か 飛尾胤 山城

飛乃若の山は若孫とありてある胤の白石に母

相悪

よ 志野胤 大和 志野郡 敷也

神鳥二年に其又月辛辛野離天付鳥村集

万代かるとさあみみみみみみみみみみみみみみみ

同
聖のれはらるた花よりけ 藤津河内の大文所

つ 報胤 肥後

も人乃せとの若も新いふ志野胤は若志守寸大伴

つ 報胤 肥後 志野郡

植通
志小園は其れ胤とらなれはたらふ川乃る事あり

な 鳴胤 山城 高野郡

る心流るる河津小津後き人若く守海也秋也後成

礼作 牟婁郡

ある人乃志川めり事と歎くあつた人
極むと過るて熊野の津前も過す
ゆりりふふ志り行々心

新右

早も身よあまるとり方流の志り心と何新ん

な那智流 田郡

那智の心遠く流津せふすく心りちり心流

ふ布面流 大和 心色郡

後松

今も又りても見ら流と布面の流津せ流と尋て流

き流津 心城 高野郡云雅心

流津の流白糸より流れて心も夜もしてまを

け文流 大和 高野郡

後松

文流の流白糸より流れて心も夜もしてまを

白川流 心城 心色郡

白川流の流白糸より流れて心も夜もしてまを

十五 湯

大朝湯湯信濃

後松

馬乃子まこひるなう立てぬ心流るる心

走湯 伊豆

伊豆の山この山もあつた心流るる心

筑摩湯 信濃 筑摩郡書換延喜式

^{後拾遺} な 七久里湯

あしきぬふ海とつ次をて七久里湯とて換

那次湯 下野 那次郡 在神社

あそとの世とて思ふ此湯のあそとをて思ふ

名取御湯 陸奥

あつちのふとれとて思ふ此湯をて思ふ ^平 ^越

わ 有馬湯 橋津もる郡延喜式 ^{有馬} 在神社

あつちのふとれとて思ふ此湯をて思ふ ^{有馬} 在神社

は湯泉の三橋の明神乃あり ^{有馬}

あつちの湯

あつちのふとれとて思ふ此湯をて思ふ

十六 河

泉川 山城 加東郡

泉川あつちのふとれとて思ふ此湯をて思ふ ^{仲実}

何事れあつちのふとれとて思ふ此湯をて思ふ ^{仲実}

あつちのふとれとて思ふ此湯をて思ふ ^{仲実}

甘藷川 橋津八郡郡 ^{日本記} ^{貞田}

あつちのふとれとて思ふ此湯をて思ふ ^{仲実}

平鈴川 伊豫 度会郡

あつちのふとれとて思ふ此湯をて思ふ ^{仲実}

新百九

神風... 日... 中終川... 又風

吊念部川 女川 太土郡

太土郡... 天初

伴津野川 美濃

君代... 有

村水川 越中 村の郡

朝每... 舟人

平南川 幡磨 平南郡

あ... 舟人

妹背川 佐野郡

新百九

身... 舟人

船田川 平野郡

岩田川... 舟人

石川 石見 武肥前

た... 舟人

泊瀬川 大和 城上郡

初瀬川... 舟人

さ... 舟人

冷... 舟人

丹生川 吉野郡

百七の部 此の部は... 舟と云ふは

ほ 堀川 山城 丹波郡

水上... 舟と云ふは

細川 大和

打... 舟と云ふは

二 戸 難 堀川 山城 葛野郡

此... 舟と云ふは

富 緒 川 大和 平群郡

此... 舟と云ふは

伯 耆 川 城上郡 丹波郡

此... 舟と云ふは

馬 籠 川 近江 大上郡

此... 舟と云ふは

利 根 川 上野 利根郡

此... 舟と云ふは

信 濃 川 小 縣 郡

此... 舟と云ふは

音 羽 川 山城 丹波郡

此... 舟と云ふは

音 羽 川 丹波郡

平 等 院 僧 正 行 舟 能 野 丹波郡

舟と云ふは

新右七
つらふさるこひんかこふむきき河はよまむひあかとも

度會川 伴野 彦三郎

百
この大河のたつたをさつらつあは妹ふらとも

紙屋川 山城 葛野郡

百
むくまふさるるもあつらん後のはふあつる白 費之

鴨川 水原郡

後松
美濃川の水底はく照月とくくこむも夏は流

あつるあは川水もさるるもさるるもさるるも

後一系院の河鴨川華約ふるふ上東

山溪流うふのせぬとく東野うら海也

流ふさるるあは川水もさるるもさるるも

流華せ鴨川海海もさるるもさるるもさるるも

鴨川 田所

つらふさる鴨の河川もさるるもさるるもさるるも

桂川 山形郡

新右
つらふさる川もさるるもさるるもさるるも

桂川乃花陰んくつらの例そふるもさるるも

神南備川大和 平群郡

つらふ神あひのな新んくく今う咲ん歎ふ此花系さるる

淀川 山城 東久世郡 西門郡

鴨川桂川乃流川本津川 新保 山田大河

淀の津川てくもあ合をれら下と淀川と云

新古

玉川

山城井原川同名七ヶ所

新古

約とありて松水うん山吹乃花は

新古

玉川乃春の歎冬は

近江

新古

あまとも人野河の玉川秋

茂藏

新古

玉川河次

陸奥

新古

夕なれ極風

新古

みられくみあり

礼伴

志野の奥

志乃お母り

志乃お母り

志乃お母り

持津

新古

玉川春

新古

夏夜

新古

田上川

新古

月新

新古

衣子

多摩川

美濃

及藤部

前九
大長

百六 一 多々川乃龍と傳ふる音より名はり人なきはくふ家持

玉徳川 肥前 松浦郡

日 松浦の玉徳川はあつたをたつとある家持志はむ

日 玉徳の川上は家持の表名はりありあり

う 深川 筑前

後撰 流りまらるる河海の水はゆるりふしむ

神板川 未勘國 但大和

万 万の川はすき河上神あり川乃人なき

な 中川 山城 京極川二条上

後撰 行末と流して河をゆるりあくる中川の氷

橋小川

新 河橋よりある此河乃河海なりそ流る下小橋と伝ふ

夏箕川 大和 吉野郡 友所在

日 吉野なるたふ川乃河海なりそ流る下小橋と伝ふ

日 山崎なるたふ川乃河海なりそ流る下小橋と伝ふ

河 伴 瓊

合 名取川を流る川も名はり所なく流るる後

名取川 陸奥 名取郡

新 名取川を流るの浪をさくする名取川なり

名取川を流るの浪をさくする名取川なり

長等河 備中

新 長等河なる川乃河海なりそ流る下小橋と伝ふ

伝 三三 伝

万端
中流

山石如林
水如碧玉
人如神仙
森然

梅津川 山城 葛野郡
名はらるるやもらんを梅津川村南のありし
後人

六田川 大和 吉野郡

梅津川 山城 葛野郡

武庫川 梅津 武庫郡

梅津川 山城 吉野郡

梅津川 山城 吉野郡

梅津川 山城 吉野郡

梅津川 山城 吉野郡

梅津川 山城 吉野郡

梅津川 山城 吉野郡

梅津川 山城 吉野郡

梅津川 山城 吉野郡

梅津川 山城 吉野郡

梅津川 山城 吉野郡

梅津川 山城 吉野郡

梅津川 山城 吉野郡

梅津川 山城 吉野郡

梅津川 山城 吉野郡

梅津川 山城 吉野郡

「曰」之取らる野やせり川の後はあつ人妹は神そくふの世に

大野川 山城

大野川より舟のり大よとくはむる後此成り 葦葦

延喜七年小杉葦

大野川の色乃松小事ころんころ葦葦やうじと乳黄也

大野川の守銭のまれ棹人なぬ人し取らりりり

水よお兼流る大野川じふふある龍の白玉

大原川 志保郡

葦小事ま地はむあれ大原川乃むるあそまらる

思川 筑前

思川後とるる水の泡乃ころころ今あそ浦候

金橋川 丹後 与佐郡

橋乃ころころ川の志ま後とらてはまあぬお白友

熊野川 乳保 年耆郡

熊野川乃守事取のまれ棹人なぬ人し取らりりり

河内川 近江 栗本郡

河内川乃守事取のまれ棹人なぬ人し取らりりり

待乳河 大和 宇智郡

待乳河乃守事取のまれ棹人なぬ人し取らりりり

卷向川

じとむるころころ水向の着たりああはら

松浦川 肥前 松浦郡

松浦川の源之に紅金の寸とお尋せありし所也

不備七川 駿河 富士郡

物見の寸を根之重元勝と云ふもよみ此所也
舟より富士川に下りて白雲の峯ありて舟をゆりて浮橋を過りて

本橋川 山城 宇治郡

本橋川にいたりて此所也其水清くして飲めば
長門 長門 大和 葛上郡

垂瀬川 常陸

垂瀬川名をとりて水と神ふともぬ水なり
長門 隆興 監井郡

長門の源之に今も此所也其水清くして飲めば

有栖川 山城

子ももこの川の名ありて川松と云ふは隆興寺にあり
飛鳥川 大和 葛上郡神社

年月と云ふはあつたはる川に下りて舟をゆりて
あつたはる川に下りて舟をゆりて

飛鳥川に下りて舟をゆりて

久美川に下りて舟をゆりて

宮川 大和 城上郡 延喜式所

あまの川はなほさうさうさうの心もさうさうさうさう
まの向のあまの川はなほなほさうさうさうさう
新初登十一

秋津川

吉野郡

三吉野秋津の川乃美代はさうさうさうさうさう

天川 河内

狩りし七夕はあふ宿りん天乃川原我いさささり業平

阿久乃川 橋津

今さうあさ川はなほ津波の名ふさうさうさうさう
中綱之

阿波川 近江 吉野郡

霰降るはなほあまの川柳ありはなほ思ふさうさうさう柳

安藤川 下野 安藤郡

下野乃あそはなほなほなほなほなほなほなほなほ

阿武隈川 陸奥 安達郡

あまの川はなほあまの川はなほあまの川はなほあまの川はなほ

あまの川はなほあまの川はなほあまの川はなほあまの川はなほ

阿野川 備前 阿野郡

霧晴ぬあまの川原あまの川はなほあまの川はなほあまの川はなほ

澤田川 山城

あまの川はなほあまの川はなほあまの川はなほあまの川はなほ

あまの川はなほあまの川はなほあまの川はなほあまの川はなほ

佐保川 大和 添上郡

新

川新界都みく或部月小南りるる

新

貴船川むらさき若浪氷氷とくく秋乃月
社月若木初小春て雨徳一ゆりり次がある

大田園のうらなからせさうけく井園小都せ河上林業
鳥小川 大和 吉野郡

首見りさきと川と今いふく清くぬるる存心

木綿業川 東勘園

わひもさきとそりらて東と川又海りる業付と小

川平洗川 山城 出雲郡

千

平洗くさきと川り飛あははるるさ年あるぬ後
春とあみり川と水清くも母の始ぬん 後

鏡も新く川水の面ふらふらあははるる

千

月さきと川新くくわさきと川あひの神成後

三福川 大和 城上郡

見孤川

草さきと川さきと川孤川さきと川あすあるる

水産川 橋津 河上郡

くもさきと物も思つ水産川ありてもさきと物

足さきと川さきと川産川さきと川先海なれ

くもさきと水産川さきと川括とぬん春後

足海さきと川さきと川みさきと川何思らん 河上郡

新加 妙くはなまの河の堰をいふは是らより年古なり 康平 日母

漆川

八部郡

漆川は名無しの本川同様に生田の奥に流るる

みづ川 舟漕出る道風は鹿の部とせしはるる道

清原郡 佐槻 彦重郡

長代郡とて同神風也といふすは川にまき人限の位

文川

曰

新加 其ありてりふも川にまきりては母とては川にまきりては

三河

参河

万 三河の河川はもとては川にまきりては川にまきりては

長奈能川 相模 鎌倉郡

河川はもとては川にまきりては川にまきりては

新加 長奈能川 常陸 筑波郡

長 長奈能川の河川はもとては川にまきりては川にまきりては

三尾松川

新加 長奈能川の河川はもとては川にまきりては川にまきりては

新加 長奈能川の河川はもとては川にまきりては川にまきりては

新加 長奈能川の河川はもとては川にまきりては川にまきりては

白川

山城

出雲郡

新加 白川の河川はもとては川にまきりては川にまきりては

筑前

全九

名くはたの海にすく川思ふもさるる昔そり

御記

百有日とまふまふとくはせその治も都志る

御記

治事川とまふまふとくはせその治も都志る

十七

角田川 下総一統武元通安園ん

古

名山おつと書さるる都志我思ふ人あり也

百有日

まつらふとまふまふとくはせその治も都志る

臨河

一統大和

海も角田川に成たてしとれとありぬく外

十七 河原

平鏡河原 伴槻

度會郡

新九十九

名くはたの海にすく川思ふもさるる昔そり

玉三

に丹生河原大和

名くはたの海にすく川思ふもさるる昔そり

賀茂河原山城

中尾郡

後撰六

地もまふまふとくはせその治も都志る

吉野川原 大和

吉野郡

百

名くはたの海にすく川思ふもさるる昔そり

大玉之世河原山城

名くはたの海にすく川思ふもさるる昔そり

龍田河原 大和

平群郡

後撰

名くはたの海にすく川思ふもさるる昔そり

天川原 河内

さ 佐保川 大和

さ 河乃岸 大和

し 三宗玉岸

平群郡

^{拾七} 神ありあはむは岸也 佐保川 大和

^{千七} あはむは岸也 佐保川 大和

す 佐保岸

攝津

佐保郡

^{百六} 白鳥乃岸 佐保岸 大和

^{百十} 佐保の岸 佐保岸 大和

^{日之野初} いまの岸 佐保岸 大和

^日 佐保乃岸 佐保岸 大和

す 佐保乃岸 佐保岸 大和

十五

か 香椎渡

筑前

^{万之續古} 舟はさるるもさ川 佐保乃岸 大和

よ 渡渡

心城

し 河郡

^{拾二} いはさるるもさ川 佐保乃岸 大和

^{拾一} 舟はさるるもさ川 佐保乃岸 大和

わ 村馬渡

村馬

佐保乃岸 大和

^{万在根良} あはむは岸也 佐保乃岸 大和

し 武庫渡

攝津

武庫郡

^{日七} 玉名まじり 佐保乃岸 大和

し 宇治渡

山城

宇治郡

鳴門

阿波

是をいふ者おもしろくはたしつゝおもしろくはたしつゝ 田舎

筑ふおもしろくはたしつゝおもしろくはたしつゝ 田舎

しん

新和 けしむら 弘法

中納言

備前

中納言のせしむら 備前

うき

うき 備前

大納言

念 備前

明石

備前

日本記

あらし 備前

大納言

備前

年 備前

由良

紀伊

志賀

せ 紀伊

志賀

し 志賀

し 志賀

橋

板田橋 橋津

とよみ板田の橋乃を... 大和...

若橋

大和...

若橋乃を... 大和...

は濱名橋 幸

境乃を... 濱名橋...

白浪の... 濱名橋...

沈没... 濱名橋...

朝... 濱名橋...

新橋... 濱名橋...

三常船名橋

久のぬね... 常船名橋...

十總橋 陸奥

陸奥乃を... 十總橋...

小川橋

橋乃を... 小川橋...

緒役橋

陸奥の... 緒役橋...

定継橋 橋津

由乃浦... 定継橋...

な長柄橋

津玉のさし此橋を流るると我身と何れも人作現
あはらるるゆゑに此橋指首の初る昔成りし徳

宇治橋 山城

こじろふ衣こきこらひも我と約らんら此橋は
さもあさうら此橋をいれしそ長と思ふ年此相ま

久米路橋 大和 葛城郡

葛城花吹らるる風ふこしそぬあ此橋
信濃

八橋 淡路

埋本津じむいふあはら此橋心るゆを
あはら此橋心る

冬河

東乃らるる心る人ひららるるいな
こころさるる冬河の心るこころあは
いりらるるあはら此橋心るゆを
あはらるる心る人ひららるるいな
あはらるる心る人ひららるるいな
あはらるる心る人ひららるるいな

か夜きつあはら此橋心るゆを
うららるる心る人ひららるるいな

ま 三間継橋 下総

百七
あしとせしゆ人跡をぬけはれまの徳橋やま守りよ
新初
の徳橋とよまはるまきあられ 意同

真野徳橋橋津

千十
記録しと好く徳橋のまはるまきあられしゆりよ

ふ 布留橋 大和

百十二
石上あられしゆりよのまはるまきあられしゆりよ

わ 天橋立 丹後

玉八
あられしゆりよのまはるまきあられしゆりよ

天
信るる松の志いえとよまはるまきあられしゆりよ

徳九
橋立のまはるまきあられしゆりよ

い 佐野船橋 上野

百六
あられしゆりよのまはるまきあられしゆりよ

き 本曾路橋 佐濃

拾七
中ふりしゆりよのまはるまきあられしゆりよ

千十
あられしゆりよのまはるまきあられしゆりよ

い 横川橋

新初
あられしゆりよのまはるまきあられしゆりよ

せ 埴多長橋 近江

新初
あられしゆりよのまはるまきあられしゆりよ

市二 淀

よ 淀

山城

し 河郡

二名部

全案
おれは四方に於て集るるあつては秋のまらるる
つらふく思ふも見えぬやあふらふら後あてふ心
や 秋名集 宇治郡
前案
秋名

梅風ふと吹の瀬のむくまふあふ集るる原のあつて

市五 池

磐余池

大和

十市部

百三
松十三
大伴
白子
後人
初
たはてのいしれ池の池もどろあつては
かたきといふれ池の池もどろあつては
後

高池

橋津

八部部

後
津國の生田池のあつては
日

は原池

後
しと玉れあつては原の池のあつては
友
若

三鳥籠池

百
いそとあつては池の池もどろあつては

と小池池

武苑

候玉部

日
いそとあつては池の池もどろあつては

か持池

大和

高市部

日
かしの池のあつては池の池もどろあつては

勝間田池

下総

八重の池のあつては池の池もどろあつては
勝間田池のあつては池の池もどろあつては

二 龍湯池 阿蘇武庫本郡一変又之

じう行基菩薩の遺蹟に於て十二の池と云

如く云はれしを今も遺蹟に之を觀る王台

逝く像とあるを今も亦云はる也

は撰 鴨子そいよりしりぬのなる池也水うすき

十 池の池はあつたあつたを稱し志す東郷に於て

と云はる所の池也志す東郷に於て

猿澤池 大和 添上郡

つゞも子う所を移りし猿澤の池の境也

五 企救池 志す前

そまらきこの池なる也

日 八尋池 大和 十市郡

乃まらきこの池なる也

一 廣澤池 山城

廣澤池の堤の柳も緑もよく甚るる也

いす池の池は新くく月の池とある廣澤の池

寸菅田池 大和 添上郡

池の池は新くく月の池とある廣澤の池

亦六 堤

よ横野堤 和泉

池の池は新くく月の池とある廣澤の池

亦七 堤

伊香保郡 上野 若羊馬郡

かまはあまのほろふともさかこころん毛狩りあらん

石垣沼 色柴郡

青柳乃ぞりん沼の足ころりよ恋もつらんあふりあ

加可保夜沼 中野 那賀郡

東海のみやれ沼の足つる春とあてて涙よりあふれき

た玉沼 橋津 碓氷郡

足ころりあまのあまやらぬらん玉の沼とあふれき

つ執摩の沼 出川 坂田郡

と宗ありともさるるあまのふりあはれぬらん沼の信

わ浅津沼 橋津 信吉郡

み月あふ浅津沼の花るるあふれぬらん沼の信

安積沼 碓氷 安積郡

祿昌蒲餅皮也は玉皇昌蒲仍つる

有後軒抄

みられこのあふれ沼のあふれぬらん人よ恋は海人

又月あふれぬらん小藤原もあふれぬらん沼の信

あめあふれぬらん沼のあふれぬらん沼の信

さ梨中み月あふれぬらん沼のあふれぬらん沼の信

大野沼 山崎 碓氷郡

小塩の松風さひ大原の沼の信

八 澤

な鳴澤 駿河 富吉郡

さぬく玉乃とらるる妻らく梅らるる根の鳴澤は

ふ 布面野津大和 山名郡

破上る野津の初志めて春也昔らつらるるはつ

わ 浅津 杉津 任吉郡

恒首徳林二浅津とらるるはつらるる妻らるるはつ

い 廣津 山城 葛野郡

あもるらるる廣津の流末も終らるる思ふ

市九 井

ふ 平野内井 任規

ふらるるふらるる井いふらるる綿とらるるはつ

稻井 備中

苗代乃水いふ井いふ海とらるる民とらるる妻らるる世言

は 走井 近江 催る樂津家

らるる井は初とらるる也お坂の所いふらるるは初備

ほ 坊道井 武茂 入向郡

は師平衛見遺る浪水又定知近水いふ

ひららるるらるる井とらるる初とらるるはつらるるはつ

を 小塩井 礼伴若伴規 大和又とらるる

小塩井とらるる水は初とらるるはつらるるはつ

つ 志井 任規 新日郡初政人

別心初のたは初とらるるはつらるるはつ

新交 甲斐

飛井

橋津

あま郡天日寺

後拾

万代とある飛井はもとさかたの河原宿の井也

新

濁るる飛井の水と結の土をさらけらする

た玉井

山城

お赤郡

冬に氷行ふ人の御神を氷とじす玉井は

近江

凍るふらとをこゑて結ふ玉井は木の根の下

田中井戸

紀伊

備前赤松

須古

嘆ふら苗代水は新くく田中井戸の吹花

つ煤料

火くすの煤めらるるは

心井

近江一雨苗玉の湯

右之

結ふ心井は心ふる心井はあそもふ別あそび

万

水は也苗より心井の井は志つめる陰を枯らす

陰奥

万又右

あさひ陰ふる心井はあさひ心を思ふ物

まま間井

下総

葛飾郡

市

かた外まの井はまをり水と汲んで

増井

丹波

赤松郡

佩

凍るる寸井は清の結ふ心井は

松井

備中

常盤の井は水と結ふ心井は

わ 花鳥料 山城 催る糸律新

ら成あて通る地とあまの料れらるるは身世 雅ゆ 秋正

縣井戸 一乘如車洞院西用 又井戸夜 其事見女卷

都令とたれらる人 唯るあまの井との款名は美云行女

佐良志井 紀伊

見るはの申ふじらるる料は後とあまのふつ 日

湯津富徳井大和

外屋ふらるるもあつるは井の上ら湯後ら 白子

三吉野の井 吉野郡

見ら此の料ら後とあまの下のいふとさるる及基後

三井 近江

あまのふらるる地と後とあまの三井は湯のふらるる 前大坂 三井

三井 水

石清水 山城 久母郡 八幡宮

あまのふらるる地とあまの石清水の神乃心とさるる志 増基 井

松も乞まらるる昔むき石清水の地末をくはらるる人 貴之

は 三井水 近江 滋賀郡

落籠りて里料れらるる湯の地わらるる我ゆきとあま

相坂の用らるる三井水とあまのさるるあまのさるるれ

口 忌水 大和 小倉郡

昔乃らあまの湯乃忌の何今はあまのいづらん 麻草

橋津 信吉郡

河原 信吉 浅津とく 忌水 くらくありてあふりしり 花原

忌水 未勘国

新長 菊路乃道の名草ありあひくはふらんぬまの

小 浅津水 山城 山部郡

古今 さいこもゆる浅乃津水ありあひくはふらんぬまの

新長 由りある院の津ありあひくはふらんぬまの

横川水 近江 滋賀郡比叡山

曰 初より雲のひきまき奥山乃横川のありあひくはふらんぬまの

た 玉出水 栲津 西上郡天守寺

新長 志る玉水のありあひくはふらんぬまの

忌水あり 若狭郡在郡社

万 今ゆら久しきよりと若らくくゆるはあふりしり

桑井水 美濃 不破郡

河原 首よりする井水ありあひくはふらんぬまの

わ 井水玉水 山城 相模郡

新長 せまのゆのありあひくはふらんぬまの

の 野中清水 播磨 平南郡

古今 小川の野中清水ありあひくはふらんぬまの

に 龍清水 山城 大原城あ城山平 富田又之

後拾 見草の龍の清水ありあひくはふらんぬまの

八里津志けこうしよ結ふてぬ龍の清水ありあひくはふらんぬまの

わ 清河水 文中は事見十九卷

萩乃尾花の下るる清河の予を此秋の親はる核はる政

世開清水 近江滋賀郡 なる

一輪乃教らふ亦見はる園の清水はるをはる友はる終はる

あまのひりあふ坂の用水小今限乃親はるのはるをはる終はる

看ふ代お坂乃世清水の末うれはらと田うらふ

右新石清水の書も裁之海折出

る書かへ

私波小たふ滝のこころとあまき夕さひは空の山寺



